

## 北九州市発達障害者支援センター 「つばさ」相談状況等について

令和5年1月17日  
北九州市発達障害者支援地域協議会

### 北九州市発達障害者支援センター つばさ

- 本所:北九州市小倉南区春ヶ丘10-2  
(小倉総合特別支援学校2階)
- 西部分所:北九州市若松区大字小敷566-8  
(小池学園内)



**【開所曜日・時間】** 12月29日～1月3日、祝日を除く  
月曜日から金曜日 8:30～17:00  
(ご都合に合わせて対応可能)

**【事業内容】**

相談支援・発達支援・就労支援  
機関コンサルテーション・研修・普及啓発

**【相談方法】**

電話・e-mail・来所・訪問(家庭・所属機関など)

・ **対象者**

北九州市内にお住まいの自閉症(高機能自閉症を含む)、アスペルガー症候群、注意欠陥・多動性障害(AD/HD)、学習障害(LD)などの発達障害のあるご本人やご家族、及びその支援者・関係機関。

・ **スタッフ(全体11名、市6名)**

センター長1名、相談員5名(長期派遣教員1名)  
(他4名は、県事業)

## 幼児期に多い相談



- 幼児期の相談はあまりない
- 総合療育センター・地域支援室やひまわり学園等が担っている様子
- 保護者→「気になる行動があるが、発達障害なのか知りたい」「対応方法が分からない」
- 保育所・幼稚園→「発達障害と思われるが、保護者にどのように説明すればよいだろうか」「園での対応方法が知りたい」

## 学齢期に多い相談



- 通常学級もしくは特別支援学級(情緒)に在籍する保護者からの相談が多い。主訴は、家庭での関わり方、及び学校で困った行動がある等
- ゲーム、ネット、スマホ依存
- 放課後等デイサービス事業所に関する問い合わせ
- 療育機関の問い合わせ
- 不登校、ひきこもり

## 青年期：学生に多い相談

- 高等学校で上手くいかない(学業・人との関わり)
- 時々、高等学校から相談依頼がある
- 高校卒業後の進路について
- 大学生活が維持できない
- 就労に関する相談
- ゲーム、ネット、スマホ依存



## 青年期～成人期に多い相談

- 就労しているがうまくいかない
- 転職を繰り返す
- 生活の中で困っていることに関して
- 人とのコミュニケーションが難しい
- 将来に向けての相談(就労先、就労の仕方について)
- 発達障害なのか知りたい
- 夫(妻)が発達障害ではないか
- 依存症(買い物、ネット、スマホ、ゲーム)
- 年金について
- ひきこもり
- 将来の生活が不安



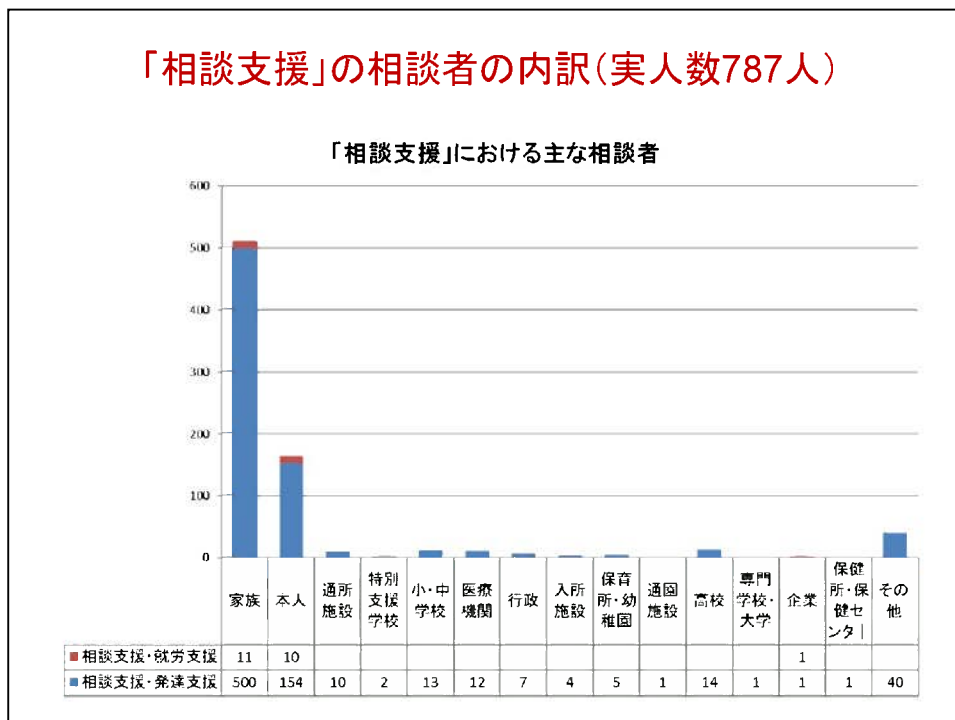
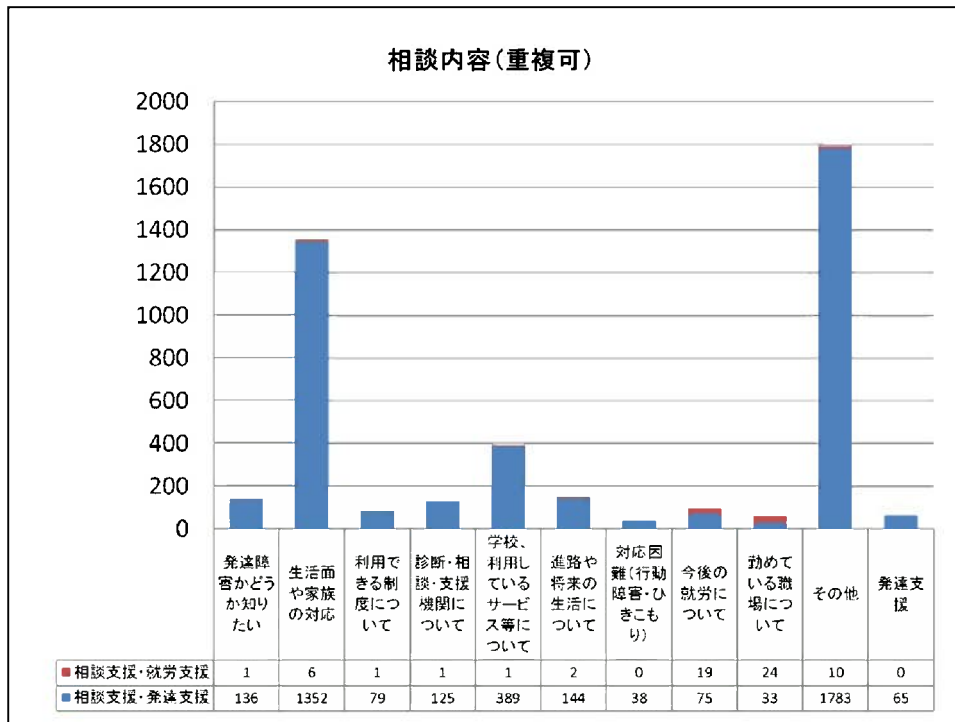
# 令和3年度 事業実施状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

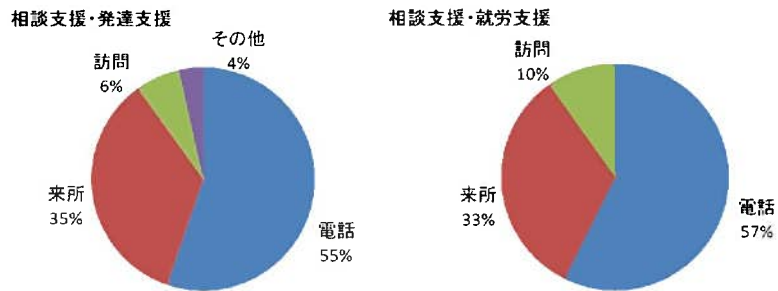
作成日:2022.4.4

## 延支援件数の内訳

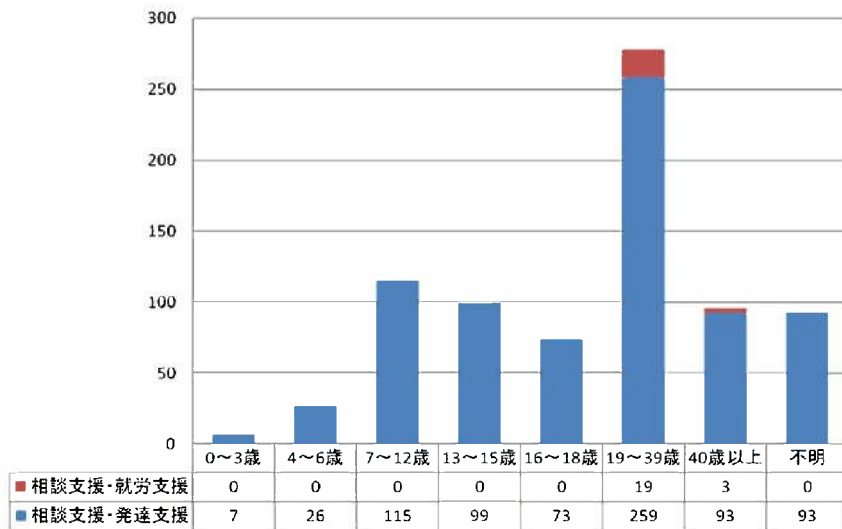
延支援 件数	相談支援 発達支援	3822
	相談支援 就労支援	61
合計(件数)		3883



## 「相談支援」における相談方法 (延支援件数3883件)



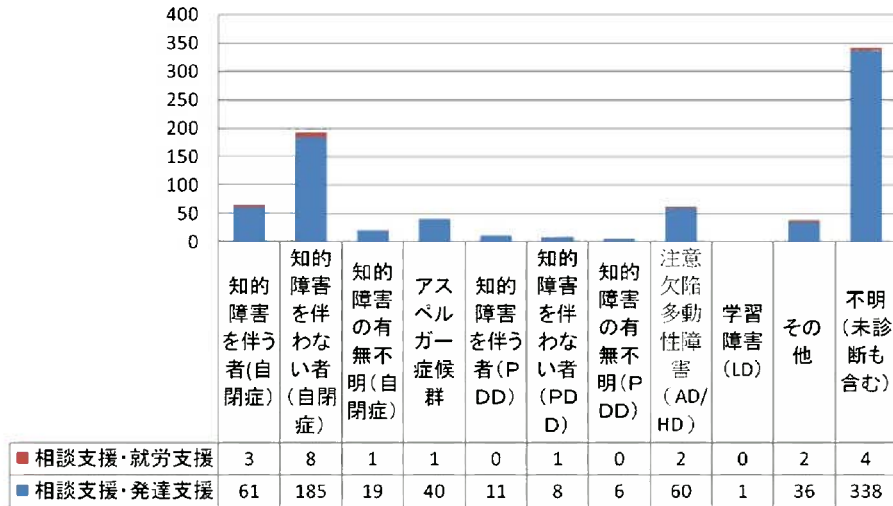
## 対象者の年齢層(実支援人数787人)



## 障害種別(実支援人数787人)

※医師の診断名でカウント

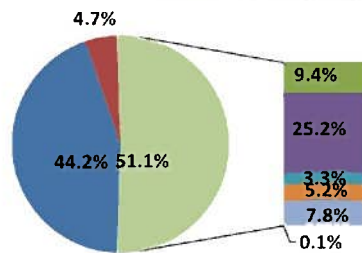
(4) 対象者の障害種別



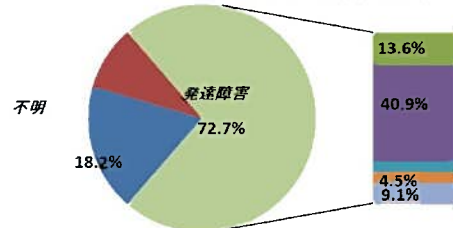
## 発達障害の有無(実人数787人)

※医師の診断名でカウント

相談支援・発達支援



相談支援・就労支援

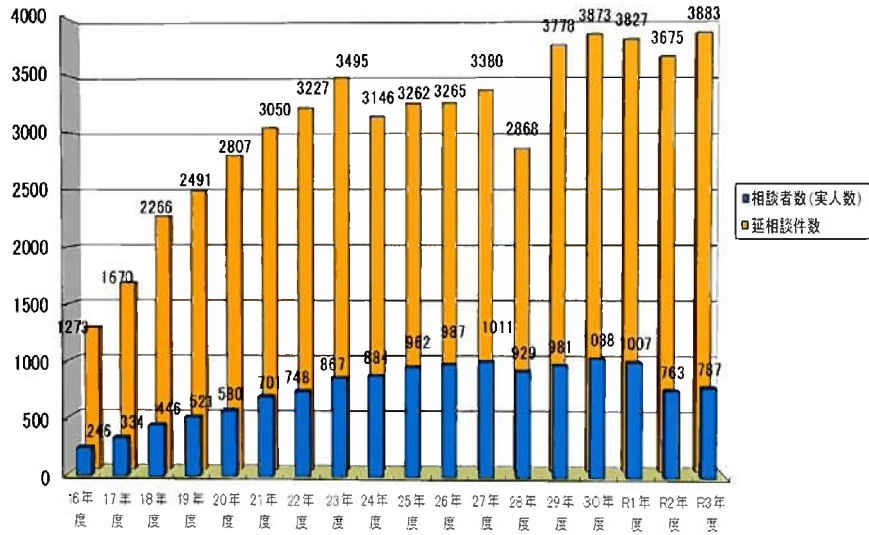


- 不明
- その他
- 知的障害を伴う
- 知的障害を伴わない
- 知的障害の有無不明
- アスペルガー症候群
- AD/HD
- LD

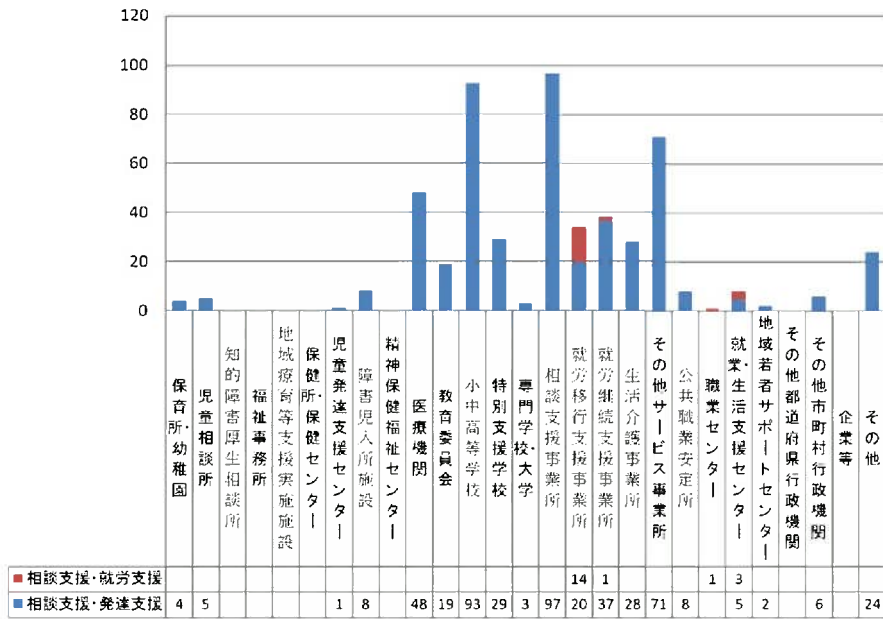
- 不明
- その他
- 知的障害を伴う
- 知的障害を伴わない
- 知的障害の有無不明
- アスペルガー症候群
- AD/HD
- LD



## 相談人数・支援件数の推移(16年度～)



## 連携先の機関

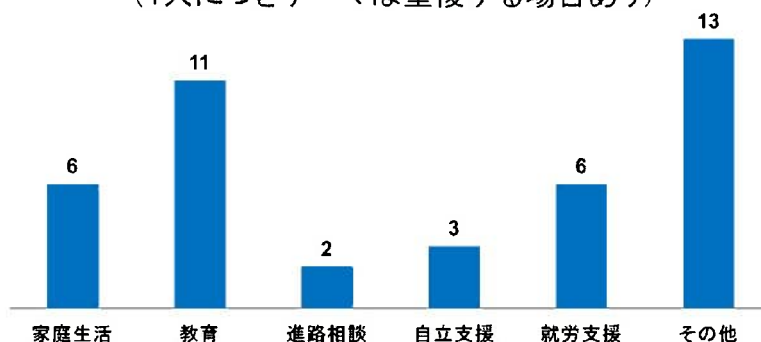


## 個別支援のための調整会議

- ・調整会議を開催した実支援人数…………… 22人
- ・調整会議の回数……………43件

会議の主なテーマ内訳

(1人につきテーマは重複する場合あり)



## 機関コンサルテーション

- ・コンサルテーション回数 …… 33件

内訳	対応方法の助言指導	30
	事例検討	4
	障害特性の理解	1
	その他	1

- ・主な機関 ……………33力所

保育所・幼稚園	1	生活介護事業所	1
小学校・中学校・高等学校	14	入所施設	7
相談支援事業所	2	その他	8

## 専門家との連携

### 高機能発達障害対象

#### 納富恵子氏(福岡教育大学)との契約

- ・午前 保護者勉強会(学齢期グループ)
- ・午後 保護者勉強会(成人期グループ) 年1回

### 「困難ケース」の発達障害対象

#### 梶原浩介氏(西南女学院大学)との契約

- ・不登校、ひきこもりケースに対する助言 年2回

#### 今本繁氏(合同会社ABC研究所)との契約

- ・事例検討や構造化、行動障害への助言 年1回

## 普及啓発及び研修

### ◇外部から講師依頼を受けた研修 (総回数:11)

対象	延対象者	研修内容
保護者、学校、福祉施設、幼・保育所、就労機関職員、一般	433	発達障害全般、療育・教育方法、診断・評価など

### ◇親の会3団体との連絡会議

自閉症啓発デーのイベント、研修等の調整。

### ◇ホームページ

研修案内、小冊子、リーフレット、改訂版サポートファイル「りあん」の資料を掲載。

## 主催した研修会

日時	研修名	講師
6月26日(土) 27日(日)	発達障がい者支援のための初級 セミナー(オンライン)	川崎医療福祉大学 諏訪利明氏 重松孝治氏
9月5日(日)	生活の中の感覚統合	総合療育センター 作業療法士 古野優子氏
10月3日(日)	発達障がい児・者の理解と支援 (オンライン)	総合療育センター 小児科医師 河野義恭氏
11月24日(日)	市民講座「愛着障害と発達障害の 理解と支援」(オンライン)	和歌山大学教育学部 米澤 好史氏
12月5日(日)	発達障がい者のための就労支援 就労支援～企業と就労支援機関 の実践を通して～(オンライン)	福岡障害者職業センター 北九州支所 平出拓也氏 実践報告者4名
2月27日(日)	実践報告会(オンライン)	実践発表者5名 コメンテーター 福岡教育大学 納富恵子氏 ABC研究所 今本 繁氏

## まとめ

- 昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、相談支援・就労支援共に減少したが、今年度は、実人数は多くないものの、延べ件数は増加している。
- 相談者は、通所施設、保育所・幼稚園からの相談が少し増加している。
- 相談内容は、「生活面や家族の対応方法が知りたい」「学校、利用しているサービス等について」「進路や将来の生活について」が多い。

## まとめ

- 連携先は、「相談支援事業所」「小中高等学校」「その他サービス事業所」の順に多い。
- 「個別支援のための調整会議」は、昨年度と大きく変化はない。新型コロナウイルス感染症対策の影響も大きいと思われる。
- 「機関コンサルテーション」は、昨年同様に減少しており、これも新型コロナウイルス感染症対策の影響が大きいと思われる。

## 課題

- 機関コンサルテーションの強化
- 行動障害のある人や家族への支援
- 家族が学ぶ場の充実
- 大学生等へのキャリア教育
- 就労支援(就労できる企業)
- 人材育成(相談支援・直接支援する人の質の向上)

## 今後の取り組み

- 親が学ぶ場(発達が気になる子どもの勉強会)
- 親の居場所作り(先輩保護者との座談会・相談カフェへの協力)
- 本人理解と対応方法の習得(各種研修会・コンサルテーション)
- 生活支援プログラム
- 当事者の集まり(各年代)
- 機関コンサルテーション